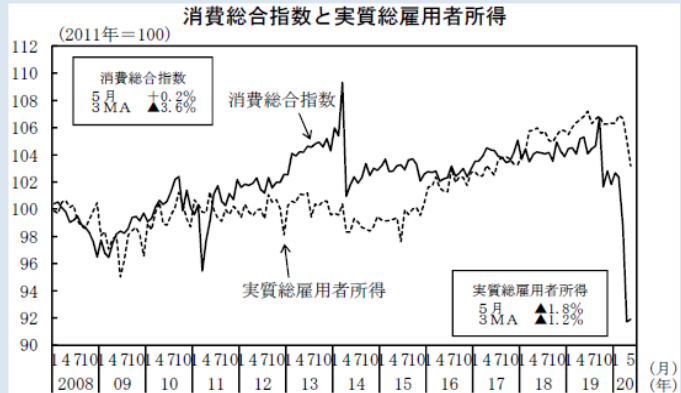


月例経済報告（2020年7月）

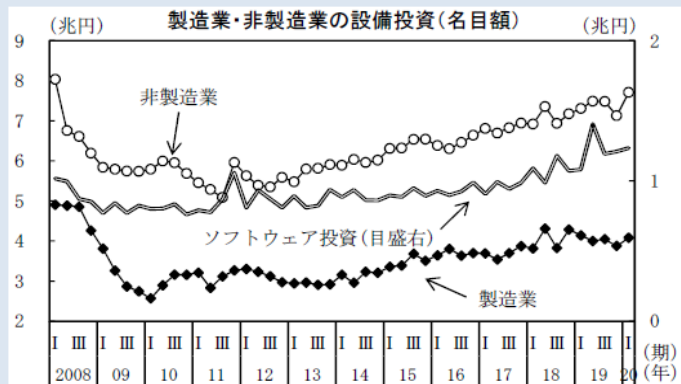
● 月例経済報告（7/22）

基調判断	(7月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。 感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、令和2年7月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。
	(6月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

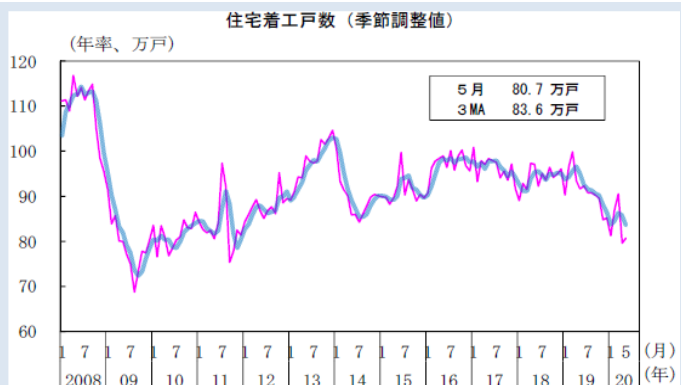
個人消費	(7月) <u>このところ持ち直している。</u>
	(6月) 緊急事態宣言の解除に伴い、このところ持ち直しの動きがみられる。



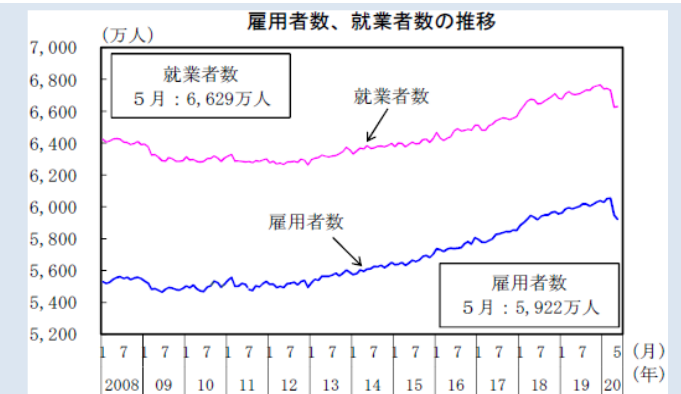
設備投資	(7月) このところ弱含んでいる。
	(6月) このところ弱含んでいる。



住宅建設	(7月) 弱含んでいる。
	(6月) 弱含んでいる。



雇用情勢	(7月) 感染症の影響により、弱い動きとなっている。
	(6月) 感染症の影響により、弱い動きとなっている。



<p><b>生産</b></p>	<p>(7月) <u>総じてみれば、減少しているものの、このところ一部に持ち直しの兆しもみられる。</u></p>	
	<p>(6月) 感染症の影響により、減少している。</p>	
<p><b>輸出</b></p>	<p>(7月) <u>感染症の影響は残るものの、下げ止まりつつある。</u></p>	
	<p>(6月) 感染症の影響により、急速に減少している。</p>	
<p><b>国内企業物価</b></p>	<p>(7月) <u>下げ止まっている。</u></p>	
	<p>(6月) 下落している。</p>	
<p><b>消費者物価</b></p>	<p>(7月) <u>横ばいとなっている。</u></p>	
	<p>(6月) <u>横ばいとなっている。</u></p>	
<p><b>海外経済</b></p>	<p>(7月) <u>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。</u> 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	
	<p>(6月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	